

# 主催者挨拶



特定非営利活動法人 日本デフバスケットボール協会 理事  
兼 普及スタッフ総括 長谷川 俊夫

## 「アスリートである前に Deaf（デフ）なのだから」

これは、昨年のデフリンピックにおいて前委員長が掲げた、私たちのデフスポーツ各競技の根幹を成す言葉です。私たちデフバスケットボールプレイヤーにとって、技術の向上はもとより、デフとしてのアイデンティティを誇りに思い、仲間と通じ合い、そして—

## 「勝利の結果より、勝利に至る過程の重視」

高め合う「過程」こそが、何にも代えがたい財産となります。2025年11月、日本で初めて開催されたデフリンピックにおいて、当協会は運営協力という形で国際大会の熱狂を共に創り上げました。そこで得た「デフリンピックレガシー」——それは、国際ルールへの理解や運営力だけでなく、競技を通じて生まれる多様なコミュニケーションの可能性です。

このレガシーを次代へと繋ぐべく、本日、熊本県人吉市の「人吉スポーツパレス」において「第23回全国デフバスケットボール大会 九州ミミリーグ」を開催できることを、心より嬉しく思います。

今大会のスローガンは「目ば見ろ。熊本でデフバスケットば盛り上げたい！」です。単にプレーを目で追うだけでなく、視覚を最大限に活用し、互いの心を通わせるデフバスケットボール特有の魅力を、この熊本の地から全国へ発信していきたいと考えています。

本日は、「男女リーグ交流戦；垣根を越えたチーム編成による熱い戦いと交流」「体験教室；デフバスケットボールの楽しさを肌で感じる機会」「展示ブース；サインバスケの紹介やデフリンピックの軌跡を辿る写真展」「デフリンピック報告会；日本代表選手たちによる、世界に挑んだ生の記録の共有」と多彩なプログラムを準備しております。

参加者の皆さまには、本大会を通じて競技技術を磨くとともに、デフスポーツの奥深さを再発見し、新たな一步を踏み出すきっかけとしていただけることを願っております。

最後になりますが、本大会の開催にあたり多大なるご協力を賜りました関係各位、そして素晴らしい会場を提供して下さった人吉市の皆さまに深く感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

さあ、共にデフバスケットボールの未来を創り上げましょう！